

早池峰山 と 岩手山 山行記録



河原坊からの早池峰山(1913.6m)



ハヤチネウスユキソウ



岩手山 7 合目からの岩手山(2038.2m)

期 日

2012 年 7 月 22 日(日)~25 日(水)

メンバー

横山高明、大和義孝

7 月 22 日(日)小雨(自宅~河原坊)

横山車にて横山宅(3:00)―大和宅(4:00/4:30)―横横道日野 I C(4:44)―狩場料金所(4:51)―大井南料金所―葛西 J C T(5:21)―小菅 J C T(5:31)―川口 J C T(5:44)―浦和料金所(5:47)―蓮田 S A(6:00/6:25)―安達太良 S A(8:30/ 9:00)―鶴巣(10:25/10:40)―花巻 J C T(11:48)―東和 I C(11:53)―東和温泉(12:00/13:00)―河原坊駐車場(13:56) (泊)

横山さんは自宅を 3 : 30 に出発し、待ち合わせ時刻 5 : 00 のところを予想以上に早い 4 : 00 に大和宅に到着、大和は起きたばかりで 30 分程待ってもらい、小雨が降る中、出発する。

ルートは横横の日野 I C から高速道路に乗り、湾岸道路経由東北道に入り蓮田 S A で休憩、ここから運転は横山さんから大和に交代する。2 時間ほどで安達太良 S A に着き休憩、燃料表示が残り 8 L を示したので鶴巣 P A で給油する。花巻 J C T で東北道から別れ釜石自動車道に入り東和 I C で降りる。I C の直ぐ傍に東和温泉があり、そのレストランで時間をかけ昼食を取る。ここからはカーナビ頼りに一般道を早池峰山登山口の河原坊へと急ぐ。

岳から河原坊への道は交通混雑を解消するため交通規制をされており普通車は 6 月 10 日から 8 月 5 日の土日

祝日の 5:00 から 13:00 までは通行できない。

我々の通過は 13:00 を過ぎていたので問題なく通れたが、大中型車の規制をしているので道路に監視人がいた。

14:00 頃河原坊駐車場に着く、天候は曇りで時間が経つに従い晴れてきた。駐車場に隣接してキャンプ場は有るが大きな草が生い茂りテントを張れる状態ではない、駐車場は 4,50 台駐車できるが駐車している車は 5,6 台と少ないので我々は車の側にテントを張る。



横山車とテント



駐車場周辺 建物左トイレ 右ビジターセンター



駐車場の側に有る炊事場



駐車場の周りに咲いているシシウドとシモツケソウ



河原坊コースの登山口



河原坊からの早池峰山

時間が早いので河原坊周辺のビジタセンタ等を散策する、駐車場の周りにはシモツケ草、シシウド、オダマキなどの花が咲いている。暫くして我々の車の隣にバイクを止め一人用のテントが張られた、地元の方の様に花の名前や2日後に登る岩手山の事などを教えてくれた。

大きな炊事場がありそこで夕食の調理をしハンバーグカレーを頂く。午後8時ごろ就寝。

(大和 記)

7月23日(月)曇り時々晴れ(早池峰山登山～岩手山馬返し登山口)

河原の坊(7:00)⇒頭垢離(こうべごうり)(8:00)⇒御座走り(8:50)⇒休憩(9:04/9:15)⇒打石(ぶづえず)(9:20)⇒千丈ヶ岩(9:35)⇒休憩(10:04/10:10)⇒早池峰山頂(10:15/10:45)⇒御金蔵(11:22)⇒休憩(12:03/12:07)⇒森林限界(12:12)⇒小田越(12:35)⇒河原の坊駐車場(13:05/13:45)―紫波IC(14:47)―滝沢IC(15:30)―岩手山馬返し登山口(15:40)(泊)



昨晩は河原の坊駐車場でテン張り、梅雨明けを待って出かけてきた。

22時頃は満天の星空、4時ごろ雨に見舞われ外はガスの中。いかがしたものか様子見。

5時ころ、大型バスで30人ほどの団体が到着、河原の坊から登るようだ。6時朝食、雨も小やみになってきたので出発を7時と決め、テントを車に積みこみ、7時出発、広葉樹の中、沢を何度か横切りジグザグに登る。



最初のコメガモリ沢の渡渉



コメガモリ沢に沿って登る



チングルマ



ハヤチネウスユキソウ



ミヤマオダマキ

灌木が小さくなり森林限界を越えると歩きにくい蛇紋岩の登りとなる。岩の間に薄雪草がこの花を見たくて、遠路早池峰山を登ることにしたのだ感激、風を避けるようにお花畑の小さい群落が目を休ませてくれる、

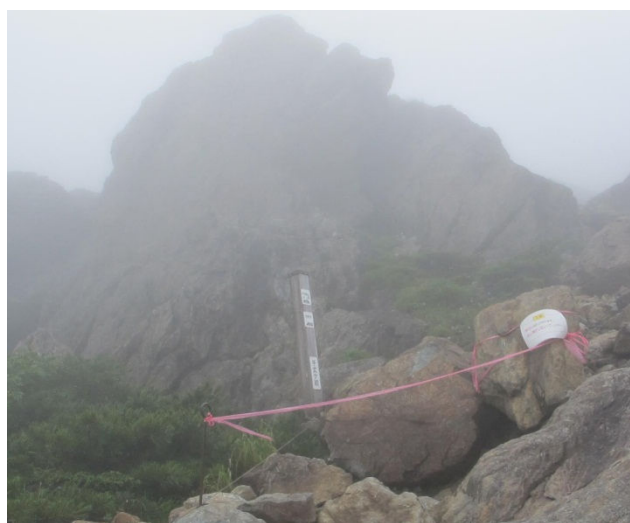


御座走り



打石(ぶつえず)前方の奇岩

御座走り、打石（ぶつえず）、千丈ヶ岩など特徴のある岩の横を登ると、鎖場が出てくるこれを過ぎ鋭い幾つかの岩と空の面積が大きくなり、10時15分頂上にひょっこり出た。3時間15分を要した



千丈ヶ岩



鎖場



頂上近くの岩場、これを乗り越すと頂上

ガスが通り過ぎていく、視界はゼロではないが遠くは見渡せない、晴れば北西の方角に岩手山が望めるはずだが雲の中だ。大休止の後小田越に向かって下りだす。



頂上にて(左横山、右大和)



頂上の避難小屋



お花畑と木道

避難小屋からしばらく木道があり、岩道を下ると、名所の鉄梯子に着く渋滞も無く下れた、左に巻き道があり梯子を避けて登降出来るようだ。

お花畑はこちらのほうが多い、花を訪ねるなら小田越ルートがお勧めと思う。



一枚岩に架かる鉄梯子



五合目御金蔵



小田越に向かうガレている山道



下の方では下山する3、40人の団体が休憩

岩道から森林の道に替わると小田越も近い、陽光の中 12時35分 小田越駐車場に着く、これから林道を30分ほど 歩き河原の坊駐車場 到着。念願だった早池峰登山を終える。



下って来た道を振り返る



小田越し登山口

河原坊を 13:45 に出発、東北道に紫波 I C から入り北上し滝沢 I C で降り、自衛隊の演習場と滝沢牧場に挟まれた道を行き滝沢村馬返しキャンプ場に 15時半に到着する。



滝沢村馬返しキャンプ場
(前方はガスで覆われた岩手山)

休暇村網張温泉に電話を入れ、24日の宿を予約する。
岩手山頂上は稜線の向こうのはず、キャンプ場の登山ルート案内板を前に、明日は早起きして、眺めの良い旧道を登り、下りは新道の予定。

(横山 記)

7月24日(火)晴れのち雨(岩手山登山～網張温泉)

登山口(4:37)⇒0.5 合目(5:08)⇒旧道を登る 1 合目(5:22/5:30)⇒トウフ岩(5:36)⇒2 合目(5:45)⇒3 合目(6:05/6:12)⇒4 合目(6:31/6:45)⇒5 合目(7:12/7:20)⇒6 合目(7:45/8:05)⇒7 合目(8:30/8:40)⇒8 合目避難小屋(8:50/9:00) (これから大和のみ、横山、腰の調子悪く避難小屋前で登山終わり) ⇒不動平(9:20)⇒御鉢(9:40)⇒岩手山山頂(9:58/10:03)⇒御鉢下降口(10:14/10:19)⇒不動平(10:30)⇒8 合目避難小屋より下山開始(10:43/10:50)⇒新 5 合目(11:38/11:45)⇒新 4 合目(12:03/12:10)⇒新 3 合目(12:23)⇒新 2 合目(12:36)⇒新 1 合目(12:59) ⇒0.5 合目(13:10)⇒登山口(13:40/14:46)―網張温泉(15:15) (泊)



4時半キャンプ場を後に、登山開始自衛隊の柵を右にゆるい登りを 0.5 合目から左に道を取り合流点 1 合目へ整備された階段を辿る、2 合目近くから、開けた溶岩の登山道となる、3 合目 4 合目と標識が案内してくれる、振り返ると雲の彼方に昨日登った早池峰山が遠くに見える。

岩道から灌木の中を進むと裾野を富士山に似た頂上が目に入ってくる、8 合目の避難小屋はもうすぐだ。腰の痛みに、避難小屋でリタイア、頂上往復に大和さんは出発、帰って来るまでお花畑を散策、何時の間にか頂上はガスに包まれ、10時半頃小雨が降りだした、山の天気は変わりやすい。10時50分大和さんと合流し下山開始。7 合目から新道に入る、雨は暫くすれば止むだろうと思ったが、登山口まで降り止まず、梅雨明けで快晴を期待した今回の山行を終えた。(横山 記)



「桶(こが)の淵(ふち)」と呼ばれる斜面を登る



一合目



二合目



4合目付近の岩道



振り返ると昨日登った早池峰山が見える



六合目の大蔵石



イワブクロ



エゾツツジ?



トウゲブキ



七合目付近の横山、後方は八合目避難小屋



八合目避難小屋



八合目のお花畑



雨の中七合目付近を下る



新五合目の横山



新五合目の大和

(8合目から岩手山頂上往復)

8合目に横山さんを残し岩手山頂上を目指し 9:00 に出発。不動平の分岐までは略平らな草の生い茂った山道でキスミレやヨツバシオガマ等が咲いている。左手に石室の不動平避難小屋その後ろに鬼ヶ城の岩場が見える、右手はガスに覆われ山容が微かに見える、分岐を右に行く、砂礫の登りでジグザクに登る。



不動平小屋と鬼ヶ城



ガスに煙る御鉢



コマクサの群落



コマクサ



御鉢に並べられた小仏像



岩手山頂上にて大和

時々ガスが晴れると最盛期の過ぎたコマクサの群落が見える、分岐点から20分ほど登ると御鉢に着く、ここから御鉢を左側に進む、相変わらずガスおおわれに視界は2,30mぐらいである。御鉢には大きく積んだケルンが有り、20個ぐらいの小仏像が等間隔に並んでいる。御鉢は岩手山の頂上まで徐々に登っている。御鉢を20分ほど歩くと頂上に着く、頂上はガスで覆われ時々晴れる。頂上には4,5人の登山者がいた、記念写真を撮ってもらい、視界がないので長居は無用と直ぐに登ってきた道を下山する。8合目に10:43に着き横山さんと合流する。
(大和 記)

7月25日(水)曇り後晴れ(網張温泉～帰宅)

網張温泉(8:25)―滝沢IC(8:57)―鶴巣PA(10:52/10:56)―安達太良SA(12:22/1356)―蓮田SA(??)―川口JCT―葛西JCT―狩場料金所―日野IC―大和宅(16:55)―横山宅(18:16)



ガスに包まれる休暇村岩手網張温泉

休暇村岩手網張温泉の食事は夕、朝食ともバイキング形式の食事であり、内容はまあまあである。平日にも関わらず部屋は満室でキャンセルで空いた部屋が取れた。

朝は雨は止んだがガスがかかり宿の周りの景色を見ることが出来ない、8:25に宿を出発し、滝沢ICから東北道に乗り、鶴巣PAで給油し来た道を忠実に戻る、東北道は東日本大震災の本復旧工事で時々渋滞が発生していた。明るいうちに無事帰宅した

(大和 記)